

**令和7年12月定例会議事録**

**令和7年12月15日**

**鹿屋市教育委員会**

○日 時 令和7年12月15日（月）  
15時から16時30分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	遠 矢 達 一
教育委員	浜 田 幸 史
教育委員	四郎園 佳 恵
教育委員	前 田 あ ゆ

○関係者

教育次長	隈 元 成 人
教育総務課長	原 添 耕 作
学校教育課長	小 野 武 利
生涯学習課長	宇 井 知 隆
教育総務課課長補佐	原 田 竜 哉
教育総務課総務係長	徳 永 仁

○議事日程

1 開会

2 前回議事録の承認

3 教育長及び委員の報告

4 議事

(1) 議案第12号 令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第4号）について

(2) 議案第13号 鹿屋市立図書館の指定管理者の指定について

(3) 議案第14号 鹿屋市文化会館及び鹿屋市王子遺跡資料館の指定管理者の指定について

5 報告

(1) 鹿屋看護専門学校専任教員採用試験結果について

(2) 大始良小学校創立150周年記念式典について

(3) 鹿屋市特別支援学校給食費補助金交付要綱の制定について

(4) かのやこどもPR大使（3期生）について

(5) 鹿屋看護専門学校入学試験（A日程）結果について

(6) 部活動報告【軽音楽部・文芸部】について

(7) 声優朗読劇フェスティバルin鹿屋（総天然色・面会）について

(8) PTAフェスティバル2025の実施について

(9) 令和7年度ブックフェスタについて

(10) かのやふるさと検定について

(11) 人権問題講演会について

(12) 文化財体験活動について

6 動議の討論等

7 その他（お知らせ）

① 文化会館閉館について

② 二十歳のつどいについて

③ 寺子屋シンポジウムについて

8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第12号	令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第4号）について	特記事項なし	原案可決
議案第13号	鹿屋市立図書館の指定管理者の指定について	特記事項なし	原案可決
議案第14号	鹿屋市文化会館及び鹿屋市王子遺跡資料館の指定管理者の指定について	特記事項なし	原案可決



教育長	<p>今年の「科学の祭典」は、11ブースの参加があった。コロナ禍以前は、20から30ブースの参加があった。その後、コロナ禍以前の参加数に戻らないことが、教育委員会としても課題の1つである。良い催しなので、例えば理協（理科研究協議会）から協力を仰ぐなど連携をしっかりと取り、より良い形に戻していきたい。</p>
4	議事
教育総務課長	<p>(1) 議案第12号 令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第4号）について</p> <p>資料に基づき説明</p>
教育長	<p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>（異議なしとの発言）</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第12号は、原案可決とする。</p>
生涯学習課長	<p>(2) 議案第13号 鹿屋市立図書館の指定管理者の指定について</p> <p>資料に基づき説明</p>
四郎園委員	<p>個人的に熊本に行く機会が多く、「熊本市立図書館」と「こどもの森熊本」を訪問してみた。「こどもの森 熊本」は、建築課の安藤忠雄さんが設計し、寄贈した施設であり竹林のような空間で、テーマに基づいて絵本や児童書が設置され、動画も流れていた。鹿児島市の「かごしまメルヘン館」を思わせるような施設であった。鹿屋市立図書館では、日本十進分類法で本が整理されていて管理しやすいとは思いますが、配置の工夫などまだまだ可能性があるように感じた。「熊本市立図書館」は、自動貸出機（セルフ貸出機）や、ゆかりのある作家や熊本城について常設コーナーが設置され、熊本らしさを感じ取る事ができた。TRC（図書館流通センター）とデジタル図書館の特色を一体化したアピールが必要で、もっと知っていただき利用してもらおうことができるのではないか。先月、市長との会議の中で新しい図書を購入するときの選定に、市民から募集するなど良い考えだと思った。もっと市民の意見などが感じられる図書館になると良いなと感じた。</p>
生涯学習課長	<p>安藤忠雄氏が設計した図書館は、全国に全5館寄贈された。大震災の復興支援と、子ども達の成長を願う想いが込められている。市立図書館</p>

	<p>については、子ども達にとってやさしい図書館という部分についてはしっかりPRし、指定管理者にも伝えたいと考える。デジタル図書館については、大隅広域ネットワークを活用し、大隅地域全体で広げる構想を企画中である。購入図書を選定については、TRCが全国展開しているため、トレンド等も含めて図書の選定を行っているが、市民のニーズを把握する必要もある。</p>
教育長	<p>市民から図書購入をリクエストしていただき、その中から選定して購入することは可能ではないだろうか。まずは実行できそうなことを行ってみることも大事だ。</p>
生涯学習課長	<p>2月に図書館協議の実施が予定されているのでそこで協議する。</p>
教育長	<p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第13号は、原案可決とする。</p> <p><b>(3) 議案第14号 鹿屋市文化会館及び鹿屋市王子遺跡資料館の指定管理者の指定について</b></p>
生涯学習課長	<p>資料に基づき説明</p>
遠矢委員	<p>これまでも株式会社まちづくり鹿屋が指定管理者であったが、指定管理者を募集するにあたり何社の応募があったのか。</p>
生涯学習課長	<p>株式会社まちづくり鹿屋の1者であった。</p>
教育長	<p>指定期間が5年間であるが、以降変化するところがあるのか。</p>
生涯学習課長	<p>大きく変わる部分はない。自主文化事業を含めた様々なイベントや館の管理、市立図書館やリナシティかのやとの一体的な運営などを継続して運営していただく。</p>
教育長	<p>最近、文化会館に劇団や一流の団体が催しを実施している。本市で観られることは大変素晴らしいことだ。文化会館は修繕工事が予定されているが、工期はどのくらいなのか。</p>

生涯学習課長	舞台吊物と非常用発電機の工事で、来年の1月から3月までの3か月間が閉館の予定である。
教育長	今年、修繕関係の工事が行われる。修繕後は、多くの催しを実施されるように進められている。
教育長	原案可決とすることに異議はないか。  (異議なしとの発言)
教育長	異議がないので、議案第14号は、原案可決とする。
5	報告
教育総務課長	(1) 鹿屋看護専門学校専任教員採用試験結果について  資料に基づき説明
教育総務課長	(2) 大始良小学校創立150周年記念式典について  資料に基づき説明
学校教育課長	(3) 鹿屋市特別支援学校給食費補助金交付要綱の制定について  資料に基づき説明
教育長	児童生徒数は何名程なのか。
学校教育課長	半分補助対象と全額補助対象が未確定であるため30名程を想定している。
教育長	半額補助対象と全額補助対象と分けられている理由は。
学校教育課長	保護者の収入に応じて補助金額が決定するが、その補助金額を県が補助している。半分補助対象と補助対象外の児童生徒が該当するためである。
教育長	県が補助している金額の不足分を、本市が補助し、全額補助になったということによいか。これで本市の給食費は保護者負担がないシステムになった。

<p>学校教育課長</p>	<p>(4) かのやこどもPR大使（3期生）について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>(5) 鹿屋看護専門学校入学試験（A日程）結果について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>浜田委員</p>	<p>この一般推薦選考は、学校推薦なのか自己推薦なのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>大学入試と同じ制度の推薦である。</p>
<p>遠矢委員</p>	<p>令和6年の指定校推薦が12名であったが、今年は11名に減っているのは、指定校推薦枠を減らしたという事なのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>減らすことはない。受験者数が指定校推薦枠を満たしていなかったということだと思う。</p>
<p>浜田委員</p>	<p>令和7年度の県立高校入試から自己推薦制度が導入された。大学や専門学校では、総合型選抜が実施されている。入試制度の幅が、広がりつつある。鹿屋看護専門学校も導入するのか等、県に合わせる必要はないが、学校のニーズや世の中の流れなど情報を把握し、検討しても良いのではないかと思う。制度の変更により、本市で看護師を希望者する方は増えるのではないかと思う。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>看護専門学校でも様々な動きがあり、本市の看護師の確保が難しい状況であるようだ。県内では本市の看護専門学校の学費が一番低く、入学の希望者が多いが、例えば、一般選考の社会人地元枠は地元の高校生も受験対象であり、試験に教科が含まれていることから、社会人が同じ土俵で受験することを難しく感じ、鹿児島市の看護学校に進学した例もある。入試制度の件も含めて、人材確保の手段を見直し検討する余地がある。</p>
<p>浜田委員</p>	<p>私が知りえている情報でもそういった点で諦めて市外の学校に進学した方が結構いる。諦めた理由が、「指定校に入れない」「一般選考は難しい」であった。将来的に本市で看護師の希望や可能性が強い方であれば、倍率や定員が関連してくるので慎重に見極めて考慮してはどうかと感じた。</p>

教育長	検討していき良い方向への対応が必要である。
	(6) 部活動報告【軽音楽部・文芸部】について
学校教育課長	資料に基づき説明
	(7) 声優朗読劇フェスティバルin鹿屋（総天然色・面会）について
生涯学習課長	資料に基づき説明
	(8) P T Aフェスティバル2025の実施について
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	5,000名程の来場者数であったようだが、別の催しと一緒に開催されたことでP T Aフェスティバル自体の数ではない。今回は、リナシティかのやで開催した。出店ブース数の制限があったため、前回との比較判断が難しい。主催者の市P連は、今後の実施について検討が必要だが、今回のような形での開催も良いものだったと思う。一方で、各校P T Aのバザーがなくなりつつありジレンマもある。
	(9) 令和7年度ブックフェスタについて
生涯学習課長	資料に基づき説明
前田委員	このような催しに参加される方は、基本的に心身共に元気な家族が多いのか。というのも、20代や30代の社会に出られない子どもを持つ複数の母親から最近相談を受ける事が多い。当人が在学中に何かしらのタイミングがあればいいが、社会との関わりや繋ぎ、接点がなくなるとどうなるか。親が死んだ後はどうなるのか切実な悩みである。このような催しに参加できることで心が元気になると感じた。
生涯学習課長	図書に関することとは少し離れるが、子ども若者支援において、この年代の層が抜け落ちる。18歳の高校生までは受け皿があるが、卒業してしまうとどこにも所属がない状態になり、家庭に閉じこもってしまう。青少年育成市民会議で、今年スタートしたベースキャンプは、元々デジタルデトックスを目指すものであるが、不登校や引きこもりの子ども達も対象にし、未然に支援できる受け皿を作るというコンセプトもあ

<p>教育長</p>	<p>る。今回のような催しに参加する家庭は、基本的に家庭教育や体験活動に関して熱心だと感じている。保護者及びその子どもにとって良い機会になっていると思う。一般的な呼びかけが主であるが、困り感のある家庭に対する呼びかけの在り方も今後考える。</p> <p>発達段階別に必要な相談所の施設名や、連絡先を一覧にした用紙を作成している。新たに学校教育課で、保護者向けのリーフレットも作成したので、相談者が訪れる場所に置いておいたり、渡していただいたりする事も一案だと思う。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>保護者向けと本人向け2種類ある。ホームページにも掲載する。</p>
<p>四郎園委員</p>	<p>「KANOYAトークルーム」が初参加であったが、鹿屋中学校保健委員会の方が参加し、コミュニケーションをとる時間もあり、凄くよかったという声聞いた。</p> <p>(以下のように修正) ↓</p> <p>「KANOYAトークルーム」が初参加であったが、どのような様子だったか知りたい。鹿屋中の学校保健委員会に家庭教育サポーターが参加し、良いコミュニケーションの時間を取ることが出来たと聞いた。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>家庭教育サポーターが、お茶菓子を出して参加しやすい雰囲気を作り、親子連れなどに声かけをした。「KANOYAトークルーム」は、教育相談を目的とした活動である。気軽に相談できる場所があることや、存在が身近にあることを知っていただくために、まずは様々なイベントに参加し、名称を覚えていただくように周知活動も努める。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(10) かのやふるさと検定について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(11) 人権問題講演会について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(12) 文化財体験活動について</p> <p>資料に基づき説明</p>

6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
生涯学習課長	(1) その他 (お知らせ) ①文化会館閉館について 資料に基づき説明
生涯学習課長	②二十歳のつどいについて 資料に基づき説明
教育長	コロナ禍の影響で、会場を文化会館から串良平和アリーナに変更して以降、毎年開催しているが、体育館という構造上マイクなどスピーカーの聞き取りがしにくい場所もある。イベント設営専門会社に依頼した方が良いのではないか。
生涯学習課長	昨年参加して、音が聞き取りづらい位置があると感じた。改めて判断しなければならないと思う。
浜田委員	昨年出席したが、外国人技能実習生や留学生などの参加もあったが、普段着に近い着衣で出席されている方もおり、日本の伝統文化に参加する意味も込めて、本人の希望があれば晴れ着を着用できると良いのではないかと感じた。
生涯学習課長	外国人技能実習生や留学生については、出欠確認中である。昨年の参加は5名程であり、今年は、より多くの方に参加していただきたい。以前の経験では、各国の民族衣装で参加していただくことがあり、アイデンティティーを持つことも大事だと感じた。晴れ着の着用は配慮したいと思う。
生涯学習課長	③寺子屋シンポジウムについて 資料に基づき説明

教育長	次回の定例教育委員会は、令和8年1月8日（木）15時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	<p>以上をもって12月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>